

我が国の未来の成長を見据えた「イノベーション・commons（共創拠点）」の更なる展開に向けて (まとめの方向性)

(令和5年4月 国立大学法人等の施設整備の推進に関する調査研究協力者会議)

『「イノベーション・commons（共創拠点）」の実現に向けて』（令和4年10月）の続編として、有識者会議（主査：西尾章治郎 大阪大学総長）において、デジタルやグリーン等の成長分野やグローバル化への対応等、社会課題や時代の変化に対応した大学等の環境整備について検討。令和5年夏頃に最終とりまとめを公表予定。

- **国立大学等キャンパス・施設は、我が国の高等教育と学術研究の水準の向上・発展を図るための「国家的な資産」を形成するものであり、地域の貴重な「公共財」。**
- **国立大学等キャンパス・施設について、教育未来創造会議における議論等も踏まえた以下の諸課題に対して、ソフト面での対応と合わせて、ハード面での対応が必要不可欠であり、社会課題や時代の変化に応じた更なる展開を図っていくことが急務。**

※「イノベーション・commons」とは、多様なステークホルダーが「共創」し、我が国の未来の成長を支える人材育成やイノベーションの創出等を行う拠点。

我が国の成長を支える人材育成・研究を支える環境整備（新たな検討テーマ）

【共通】デジタル技術も駆使したハイブリッド型環境の整備

- ・ **デジタル技術を最大限活用した上で、対面による教育研究のメリット・効果を最大限生かせる環境整備**

①成長分野等の社会課題に対応した人材育成・研究を支える環境整備

- ・ **DXやGX等の成長分野等の社会課題に対応した人材育成や研究の強化を支える施設環境の確保**
- ・ **地域や産業界等との共創や分野を超えた共創を支える環境整備**

②地域を中心とした産学官連携強化による人材育成を支える環境整備

- ・ **地域連携プラットフォームと連携した共創拠点の整備や地域産業振興・スタートアップ創出のための拠点整備**

③多様な主体に開かれた魅力ある環境整備

- ・ **ジェンダー、年齢、国籍、障害の有無等の多様性を受け入れる環境整備**
- ・ **生活環境や出産や育児等との両立にも配慮した環境整備**

④グローバル化に対応した国際競争力のある環境整備

- ・ **国内外の学生や研究者を惹きつけるキャンパスの質及び魅力の向上**
- ・ **国際的にも魅力ある教育研究環境の整備、混住型宿舍等の生活環境の整備、国際交流・発信拠点の整備**

【国立大学等の現状】

老朽化が深刻。旧来型の未改修施設では、研究室が小割され、たこつぼ化し、共創活動に対応できていない。



小割された教育研究環境

＜環境整備のイメージ＞ ※各事例はイメージ。今後、関連する事例調査・その整理を更に進めて、最終的なとりまとめを行う予定。



DX・GX等の成長分野でオープンな環境のもと、ステークホルダーや分野の枠を超えた共創を推進する環境整備。情報セキュリティ等の観点でオープン/クローズな空間の段階的整備にも対応。大学等有するリソースの活用。



研究室間を隔てる壁を設けないオープンラボ



まちとの連携も含めて生活環境が整備され、キャンパス全体で多様な人々が様々な交流を行える魅力ある環境整備。留学生と日本人学生の混住型宿舍等の整備にも対応。

今後の推進方策

- **国は、予算のより一層の確保・充実や情報発信の強化、多様な財源の確保や制度の活用に向けた取組の推進等**に取り組むことが重要。
- **国立大学法人等は、各大学等の強みや方向性を踏まえた共創拠点化の取組の推進や共創活動を推進する体制づくり等**に取り組むことが重要。
- **地方公共団体・産業界は、共創拠点化の企画段階からの参画や必要な予算確保、体制強化、各施策との連携等**に取り組むことを期待。